

面接票

職業のイメージに関する調査

(平成 19 年～21 年度 科学研究費補助金 基盤研究(C) 課題番号 19530441)

2008 年 9 月

〔研究代表者〕 奈良女子大学 文学部

准教授 林拓也

〔調査実施〕 日本電子計算株式会社

株式会社フィールドブック

対象者番号	調査員名

【 調査前の確認事項 】

- * 調査をすすめていく過程で、この面接票のほかに、以下のものを使用する。
 - ・ 36 枚の職業カード×2セット（調査が始まる前に番号順にそろえておくこと）
 - ・ 「参照・記入用調査票」（A票／B票 ※回答者ごとに交互に）
 - 問 1～3 : 質問内容を確認するため
 - 問 4～10 : 回答を記入してもらう
 - ・ グループ分け追加用紙（問 2 で必要があれば使用する）
 - ・ 職業名一覧表（グループ分けのときに、参照用に必要であれば）
- * 職業カードを分類する問では、一定の作業スペースを確保してもらう。
- * 問の中に記載されている【 】内は、調査員向けの手順や指示なので、読み上げない。必要に応じて確認し、調査を円滑にすすめること。

○ この調査は、職業に対する皆様の認識やイメージをたずねるものです。それぞれの問には正解があるわけではありませんので、ご自分の考えを率直にお答えください。

○ 得られた回答は、集計したデータとしてのみ扱い、個々人の回答が表示されることはありません。

調査開始時間

1. 午前	2. 午後	時	分
-------	-------	---	---

事前準備

【対象者に、「参照・記入用調査票」を手渡し、表紙下部の「ご回答にあたって」の部分を読んでもらう（または、調査員が読み上げて良い）】

【対象者に36枚の職業カードのセットを手渡す】

【分類するための作業スペースを確保してもらう】

問1

- いまから、これらのカードを分類する作業を行っていただきたいと思います。

【参照・記入用調査票「カードのグループ分けイメージ（例）」を見てもらう】

- まずは、それぞれの職業に就きたいと思う程度にしたがって、グループ分けを行います。すべての職業に就くことが可能だと仮定して、あなたの好みの順番を考えてください。

【とくに「就きたい」（または「就きたくない」という職業がないという場合でも、このカードであげられた職業の中で比較して、順位づけ（グループ分け）を行ってもらう。】

- 最終的には、好みの順番にしたがって合計9つのグループを作ってください。そのために、まず第1段階として、就きたい／中間／就きたくない、といった大まかに3グループに分け、次の第2段階として、各グループの中で、さらに3つの細かいグループに分けてください。
- 大まかな3グループから、細かい9グループに分けるときに、やり直しのためにグループを入れ替えても結構です。

【最初の大まかなグループ分けで、あるグループに含まれるカード枚数が少なく、細かい3つのグループに分けられない場合、次のように対処する。

→ ここでの目的は合計9グループに分けてもらうことなので、可能な限り、そうなるように再度分けなおしてもらう。

→ どうしても、それ以上細かく分けられない場合は、空いている細かいグループがあっても良い。】

【カードの分類が終わったら、カード番号の転記作業に移る。→ 次ページ】

- いまから、それぞれのグループに含まれるカード番号を、調査用紙に記入します。まずは「最も就きたい」グループ（①）からですが、このグループに含まれるカードの枚数は合計△△枚ですね。【合計枚数を確認した後、以下に記入する。】



グループ①（最も就きたい）…………… 枚

【このグループに含まれるカードの番号を以下の空欄に記入する。その際に、もし可能であれば、対象者にカード番号を読み上げてもらうなど、協力していただく。】

カード番号

【欄が不足する場合には、右の余白を使って追加記入する。】

【この枚数が、上で記入したカードの合計枚数と同じであることが確認できたら、次のグループの転記に移る。】

【以降は、同じ要領で、すべてのグループを記入し終えるまで、各グループのカードの枚数と、カードの番号を記入していく。】

グループ②…………… 枚 → 累計 _____ 枚

カード番号

【各グループの枚数とともに、それまで数えた合計枚数を「累計」の横に記入する】

グループ③ 枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ④ 枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ⑤ 枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ⑥ 枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ⑦ …………… 枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ⑧ …………… 枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ⑨ (最も就きたくない) …… 枚 → 累計 _____枚

カード番号

【 ①から⑨までのカード枚数の累計が「36枚」になっているかをチェックする。もし異なっていたら、分類作業や転記のときに間違いがなかったかを再度確認する。 】

問2 【別のカードセット（1～36まで順番に並んでいるもの）を用意する。】

【問1で用いたセットは、可能であれば、この問の作業中に並べ替えておき、次の問3で再び使用できるように準備しておく。】

- 次に、あなたが「似ている」と思う職業をまとめて、グループ分けを行ってください。
- どのような基準で「似ている」と判断するかに正解はありません。また、その基準を正確に決めなくてもかまいませんので、あなたが直感的に「似ている」と思うものをグループとしてまとめてください。
- 1つのグループに含めるカードの数には、とくに制限はありません。他のどれとも似ていないと思ったら、1つのカードを1つのグループとして扱っても結構です。
- グループの数についても、とくに制限はありません。だいたいの目安としては10グループ以内ですが、これを超えてもかまいません。

【カードの分類が終わったら、カード番号の転記作業に移る。】

まず、ある1つのグループ（どのグループから始めても良い）を手元にもってくる。】

- いまから、それぞれのグループに含まれる、カード番号を調査用紙に記入します。まずはこのグループからですが、このグループに含まれるカードの枚数は合計△△枚ですね。【合計枚数を確認した後、以下に記入する。】

↓

--

枚

【このグループを仮に「グループ1」とし、それに含まれるカードの番号を以下の空欄に記入する。その際に、もし可能であれば、対象者にカード番号を読み上げてもらうなど、協力していただく。】

グループ1

【欄が不足する場合には、右の余白を使って追加記入する。】

【この枚数が、上で記入したカードの合計枚数と同じであることが確認できたら、次のグループの転記に移る。】

【以降は、同じ要領で、すべてのグループの番号を記入し終えるまで、各グループのカードの番号と、カードの枚数を記入していく。】

【この用紙に記入できるのは、「グループ10」まで。グループの数が11以上の場合は、別紙「グループ分け追加用紙」に記入する。】

グループ2 枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ3 枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ4 枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ5

枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ6

枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ7

枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ8

枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ9

枚 → 累計 _____枚

カード番号

グループ10

枚 → 累計 _____枚

カード番号

【 グループ11以降のカード番号は、別紙「グループ分け追加用紙」に記入する 】

※ 合計

グループ

問3 【別のカードセットを用意する】

- (a) あなたが中学生のときのことを思い起こしてください。そのときのあなたのご両親の考えとして、それぞれの職業は、あなたに就いてもらいたいと思うものだったでしょうか。それとも、就いてもらいたくないと思うものだったでしょうか。
あなたの将来に対する、当時のご両親の「期待・希望」という基準で、これらの職業を、①就いてもらいたい／②就いてもらいたくない／③どちらでもない、という3つのグループに分けてください。

【実際に期待していたことを直接には言われたことがなくても、回答者の推測で良いので、当時の両親の考えを基準にグループ分けをお願いします。】

【必ずしも「両親」がそろっていない場合、どちらか一方（父または母）の考えでも良い。両親の意見が分かれている場合は、回答者の将来について、当時良く話していた方の考えを基準とする。】

まず、就いてもらいたいと期待していた職業の番号を、調査用紙に記入します。

①就いてもらいたい職業

枚

カード番号

次に、就いてもらいたくないと思われる職業の番号を、調査用紙に記入します。

②就いてもらいたくない職業

枚

カード番号

【③「どちらでもない」職業の番号は記入しなくて良い。】

(b) これらのカード以外で、就いてもらいたいと期待していた職業がありましたら、その職業名をお答えください。

【 複数の職業名をあげてもらっても良い。 】

--

【 以降の間では職業カードは用いないので、ここでカードを回収する。 】

○ カードを用いた分類はここまです。これからは、お手元にある調査票の問4以降に質問文が書かれていますので、それをお読みのうえ、回答をその調査票に直接ご記入ください。

調査員記入・確認項目

・ 終了時間（面接）	1. 午前 2. 午後	時	分
------------	----------------	---	---

・ 終了時間（自記式）	1. 午前 2. 午後	時	分
-------------	----------------	---	---

・ 調査を行っているときに気づいた点があったら、以下に記入する。
(回答しにくい質問、わかりにくい・イメージしにくい職業名、質問内容の理解度、その他回答者の反応で気づいたこと、など)

--

・ 36 枚の「職業カード」は、次の調査のときにふたたび使用するので、番号順にそろえ直しておく。